

写真を活用した環境学習プログラムの開発 ～身近な生き物を対象にした都市における子どもの活動～

環境教育湖沼実習センター 0728 山田悦子

1. はじめに

高度情報化社会といわれる現代、子どもたちは様々な方法で「自然」についての情報を得ることができる。しかしそれらは一面的な知識であり、体験によって得る自然認識とは異なるものであろう。子どもが自然体験を通して、人と人、人と自然の関わりを体感することは非常に重要である。しかし、自然と接するという経験をあまりしていない子どもが自然体験の機会を得たとしても、その場を十分に生かすことは難しいのではないだろうか。そこで直接的に自然と接しにくい子どもに対して、間接的な接し方から入っていけるような自然体験の第1段階のプログラムが必要であると考えた。その際、重要な視点は「身近な自然とのかかわりに関心をもつ」ことにあるだろう。

本研究では、子どもが無理なく自発的に自然と親しむために、都市でも観察しやすい「虫」を対象として「写真」を撮る自然体験活動のプログラムの開発を行うことを目的とした。

2. 写真の有用性

自然体験の第1段階としての環境学習プログラムにおける写真の有用性として、直接的な接触を伴わなくても、自然体験ができることが挙げられる。そのため、どこまで、あるいはどのように近づいていくかは各々のレベルに合わせることができる。また、生き物の写真を撮るためにはその生き物を意識して見つめる必要があるため、能動的に自然と接する方法を見出さなければならない。さらにスケッチと違い、写真には生き物とその棲息環境も写し出されるため、生き物とその周りの環境とのつながりを容易に感じることができる。最後に写真には主観的な記録性があるため、撮影後にその経験について振り返ることが容易であることを挙げたい。

3. 写真を活用した環境学習プログラム

「虫の写真家になろう」と題したプログラムを考案し、尼崎市立武庫北小学校及の校区内で試行実践を行った(表1)。プログラムのねらいは①自然体験の乏しい子どもでも無理なく自発的に自然と接する方法を見出させる②それぞれの子どもの興味・経験のレベルに合わせて生き物との距離を縮めさせる③作品に写し出されている自分の自然観に気づかせ、他人と交流することにより、自然観を広げさせるの3点である。第1回<虫を探そう>では、野外での虫の観察を初めて経験した参加者も多数いた。第2回<虫を撮



写真1.「拡大写真の撮影」

ってみよう>ではインスタントカメラを用いて撮影の練習し、撮影タイムではコンテスト用の作品を撮影した。各々の経験や興味に合わせて、観察・撮影方法に工夫がみられた。第3回<写真コンテスト>では作品の発表を行った。

表1. 実践したプログラム 「虫の写真家になろう」

第1回 <虫を探そう>	7月24日(火) 8:30~10:00 晴天 グループ分け(5グループ)・虫の写真の紹介・観察方法の説明・校外で観察	[場所: 第2理科室・公園]
第2回 <虫を撮ってみよう>	7月25日(水) 8:30~10:00 晴天 前回観察した虫の記録・インスタントカメラの使い方の説明・校外で撮影練習	[場所: 第2理科室・公園]
撮影タイム	7月25日(水)~7月31日(火) 全日晴天 グループごとに撮影(カメラは各自1台・24枚撮り)	[場所: 校区内]
第3回 <写真コンテスト>	9月1日(土) 9:00~10:30 晴天 振り返り・グループ内コンテスト(個人作品)・全体コンテスト(グループ代表作品)・審査・結果発表	[場所: 第2理科室]

参加者: 小学6年生 24名(男12名・女12名)

4. 試行結果及び考察

自然体験の乏しい参加者が身近な生き物の写真を撮る活動を通じて、各々のレベルで生き物に近づいていく様子を見ることができた(表2)。「写真」を活用することは、間接的な自然体験になる可能性はあるものの、子どもが自発的に自然に接する機会を与えることができると考えられる。

今回の活動で撮影された写真はテーマや撮影方法などが様々であったことから(写真2・3・4)、それぞれ自然の接し方・観方が異なっていたことがわかる。同じ場所で撮影しても人によって異なった写真になることを知り、自然の観方を広げる可能性が示唆されたといえる。

虫を観察することをきっかけとして身近な自然環境について目を向け、さらに視野を広げていくためにも、虫とそれ以外の生き物、あるいは人との関わりについても考えるような活動を取り入れることが今後の実践の課題である。

表2. 参加者の感想(抜粋)

「初めは虫がきらいだったけど、虫をさがしたり写真をとっていたら、だんだん虫が好きになった。」

「セミのぬけがらに初めてさわった。成虫はなくからいやだったけど、すごくおもしろかった」



写真2. 「セミの顔のアップ」

(接写撮影)

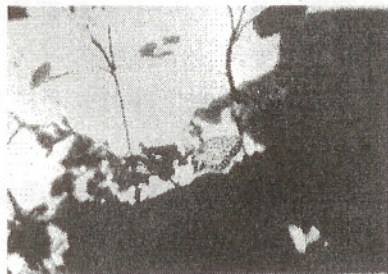


写真3. 「ヤマトシジミの吸蜜」

(接写撮影)